

1812

238



海軍省功績調査部長殿
呉警備隊機密第三號ノ二

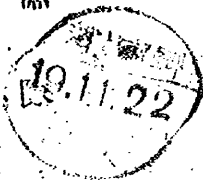
5/6

自昭和十九年十月一日
至昭和十九年十月三十一日

十月十九日送付

呉海軍警備隊戦時日誌

呉海軍警備



目次

- 一 經過
 - (一) 一般情勢
 - (二) 任務、備成、配備
 - (三) 編成
 - (四) 警備經過
 - (一) 警備戒配備
 - (二) 防空並海上警言戒
 - (三) 陸上警言備
 - (五) 戰備及政策事項
 - (一) 教育訓練
 - (二) 施設及砲台見張所、現狀
- 二 人員、現狀
 - (一) 職員官氏名
 - (二) 下士官兵現在員數

- 三 (ハ) 練習生ノ種別及現在員数
- 三 令達報告等
- 四 参考
- (イ) 派遣員ノ現状
- (ロ) 戦訓
- 五 作戦經過ノ概要

終

経過

(1) 一般情勢

台湾沖及菲島沖ニ敵機動部隊ヲ捕捉之ニ潰滅的打撃ヲ與ヘシモ其ノ陳容建直シニ躍起トナリ、亦ヨリヤナリ群島ヲ基地トセル敵ノ反抗意圖熾烈ニシテ嚴重ナル警戒ヲ要ス

(2) 内地方面

十二日ヨリ十五日迄早朝ヨリ敵機動部隊ハ台湾沖ニ出没シ敵機台湾各地ヲ連續爆撃ス我航空部隊ハ果敢ナル攻撃ヲ反覆シ遂ニ敵機動部隊ノ過半ノ兵力ヲ潰滅シ之ヲ潰走セシム

(3) 南方方面

十七日菲島レイテ島ニ敵上陸以來彼我航空戦茲ニ地上戦鬪熾烈ニシテ同方面ノ我部隊ハ陸海協力之ヲ邀撃中

(4) 西南支方面

雲州ヲ席捲シタ我諸部隊ハ引續キ桂林周邊ニ殺到シツ、攻撃續行中

(5) 任效力編成配備

(6) 任效力

(一) 編成

陸上部隊ハ對空警戒ヲ嚴シシ航空隊及部外防空機關ト密接ナル連繫ノ下ニ担任地区ノ防空ニ任ジ併テ部外防空指導ニ當リ且艦隊泊地ノ防空ニ関シ聯合艦隊司令長官 吳鎮守府司令長官協定ニ基キ聯合艦隊ニ協力スルト共ニ吳鎮守府戰時警備要領ニ依リ担任地区ノ警備ニ任ズ

(三) 配備

昭和十六年十二月一日機密陸上防備部隊命令第一號通 吳鎮守府機密第五號ノニ九及大海幕機密第六號ノ一ニ依リ 徳山警備隊設置サレ 吳鎮守府部隊ニ編入サル

方面砲台(機銃)名	主 兵 器	准士官	下士官	兵 記	事
吳 音 戸	十二種高角砲四門	四	三四	一一三	全量射撃可
大本航空隊	同	一	八	六九	
紀伊防備隊	同	一	九	六八	
徳島航空隊	同	一	八	六九	
警 小 松 島	三十五耗量機銃三門	一		一九	

(一) 警備經過
(二) 警戒配備

吳方面第二期緊急戰備防空關係機銃隊及照空隊ヲ左ノ如ク編成													
定所府備	紀伊防備隊	姫路航空隊	川西航空機銃所	徳島航空隊	三重航空隊	航空隊	山崎隊	中村隊	岸隊	赤廣隊	西田隊	前隊	東隊
十三耗單裝機銃	三五耗同	同	同	十三耗單裝機銃	同	同	機銃隊	同	同	同	同	照空隊	同
六門	六門	三門	六門	三門	六門	六門	三	五	三	二	二	四	三
一	一	一	一	一	一	一	七	七	七	七	七	二	二
一七	五三	二一	三八	一六	四一								
兵隊未裝備													
事													
記													
兵隊未裝備ニ付キ未配備													

第四警戒配備(但シ至〇六〇〇第二警戒配備ニ準シ嚴戒スニニ〇〇ヨリ灯火警戒管制實施)

自十日〇四〇〇至十二日一五三、第二警戒配備、三十二日自〇四〇〇至一一〇〇

第三警戒配備 自二十四日一〇〇〇至二十五日〇八三〇訓練第一、二警戒配備 自二十五日〇九〇〇至二二〇〇第一、二警戒配備

(四)防空並海上警戒

各見張所ヲシテ凡ル敵ニ對シ嚴重ナル見張ニ任セシム

(三)陸上警備

前月通、外吳鎮信令第四三七號ニ依リ大カクマ島ニ派遣中ノ警戒兵ヲ吳鎮信令第六七五號ニ依リ十月十日撤收セリ

軍港衛兵隊防謀班ヲシテ修理改造船舶ノ出港及新編成部隊ノ發進等ノ稍頻繁トナリタルニ鑑ミ機密及流言ノ取締ニ任シタル外軍人軍屬ノ防謀思想向上ニ任セシム

(二)戰備及政策事項

(一)教育訓練

(1)當隊ノ標語タル宿敵殲セ氣魄ト猛訓練ヲ以テ各部共戰鬪即應テ主眼トシ、其ノ主要任務タル對空戰鬪、通信、防火

- 防毒爆彈處理、應急工作等、反覆演練スルト共ニ兵器及各
種要具ノ整備ニ意ヲ用ヒ北九州ノ戰訓ニ鑑ミ戰力ノ極度發
揮ニ務メシム
- (2) 機密吳鎮守府命令第七四號吳鎮守府防空基本訓練ニ依リ
各種訓練ヲ演練セリ
- (3) 吳鎮守府機密第一號ノ五一ニ依リ十月三日、小曾ニ於テ二十五耗
機銃射撃ノ指揮官講習ノ爲、准士官以上ノ者ヲ參加見習セ
シム
- (4) 十月三日、四日、六方面、十月十日、十一日、徳山方面ノ對空測約訓練
ヲ實施ス
- (5) 三三ニ空夜間戰鬪機ニ對シ十月七、九、十一日各、四三ヨリ照射訓練
ヲ實施セリ
- (6) 吳警備機密第一號ノ五七ニ依リ十月八、九日、吳方面實射射法
訓練ヲ實施セリ
- (7) 機密吳鎮守府命令第三七號ニ依リ十月十日ヨリ吳鎮守府防
空見張通信訓練ヲ實施中
- (8) 機密吳警備隊日令第一號ニ依リ自十月十三日至十月十八日、吳方

- (9) 面防空砲台廣約對空戰訓練ヲ實施セリ
機密吳警備隊命令第三四號ニ依リ十月十四日島帽子山砲台(八
糧)ヲ試射ヲ實施セリ
- (10) 廣島要地軍官兵連合防衛演習ノ爲十月二十三(日)部外防空指
導部参加セリ
- (11) 吳警備隊機密第二號ノ一七ニ依リ防空資材整備講習ヲ第一
練兵場ニ於テ實施セリ(十月三日参加各廳)
- (12) 機密吳鎮守府命令第三七四號ニ據リ「吳警備隊機密第二號」
一三ニ依リ第九團防空訓練ヲ實施(自十月十四日一三。至十月十
五日ハ三。併テ各種訓練ヲ演練セリ)
- (13) 機密吳警備隊命令第四五號ニ依リ十月二十五日音戸砲台(十二
糧)ノ試射ヲ實施セリ
- (14) 吳鎮守府命令第三三號ニ基キ「吳警備隊機密第八號」(四
三)依リ吳鎮守府小銃戰闘射撃ヲ十月二十六日郷原射的場ニ於テ
實施セリ
- (15) 吳鎮守府信令第七〇一號ニ依リ防毒指導講習ノ爲館砲校ハ
十月二十八(日)ヨリ六日間維士官一名派遣セリ

- (14) 機密吳警備隊命令第四號ニ依リ第五回吳方面防空砲台教練射撃ヲ十月二十八、二十九、三十日ニ實施セリ
- 練習生ノ部
- (1) 吳警備隊第二期普通科砲術練習生(陸上對空機銃班)四三名ノ始業式ヲ十月五日施行セリ
- (2) 機密吳警備隊命令第四三號ニ依リ第一期普通科練習生(陸上對空機銃班)ノ二十五挺十三挺機銃ノ教程射撃ヲ十月二十日大平山ニ於テ實施セリ
- (3) 機密吳警備隊命令第四二號ニ依リ第一期普通科練習生(陸上對空機銃班)ノ二十五挺十三挺機銃ノ教程射撃ヲ十月二十日白水山ニ於テ實施セリ
- (4) 吳警備隊第一期普通科砲術練習生(陸上對空機銃班)四一名ノ修業式ヲ十月二十六日施行セリ
- (5) 第二期普通科練習生ノ小銃機銃教程及檢定射撃ヲ十月二十四、二十五、二十六日川原石射的場ニ於テ實施セリ
- (四) 施設及砲台見張所ノ現狀
- (1) 高角砲台(一)内ハ訓令番號ヲ示ス

吳方面

砲台名	二種七將裝	二種單裝	十種聯裝	八種單裝	記
大平山	二基				事
大須山	三基				
龜ヶ首	二基				
秋月	二基				
次ヶ峯	二基				全量射撃可工事中(一五七)
高畑山	二基				工事中(一五七)
熊野	三基				工事中(二〇九三)
三津峯山		四門			全量射撃可(一五七)
音戸		四門			工事中(四九九三)
吉松山		四門			工事中(四九九三)
飛渡ノ瀬			二基		未着工(五三四七)
螺山			二基		工事中(四〇二七)
鳥帽子山				二門	完備
新宮				六門	工事中(砲台度り切大門 新造品類命令 第四二二号)
高島				四門	完備
釣島				三門	撤収工事中(呉鎮命令 第四〇五号)

(2)

機銃砲台

徳島方面	東山	光山	北山	新宮	笠戸	仙島	虹ヶ浜	大津島	水谷山	永源山	阪警所定	津奈航空隊	紀伊防備隊	徳島航空隊
二基	二基	二基	二基	二基	二基									
						四門	四門					四門	四門	四門
								二基						
								二門	二門	二門				
全量射撃中 (一五七)	工事 中 (二〇九)	工事 中 (六六一)	工事 中 (六五一)	工事 中 (六三九)	工事 中 (一五七)	工事 中 (四九九)	工事 中 (五三四)	工事 中 (六三七)	工事 中 (六三七)	工事 中 (四九九)	工事 中 (四九九)	工事 中 (四九九)	工事 中 (四九九)	工事 中 (四九九)

[illegible]

大津島同	永源山同	水谷山同	東山砲台内	五郷	支隊本部	田平	大浦	遠石	大迫田	蔵西	中央炭提	三燃廠内	徳山方面	大平山	白木山	早港第波止場
										三基	一基					
				三基 (工事中止)	二基	三基	三基	四基	三基 (工事中止)					一教基	三教基	三同基
												一基				
														一教基	二應基	
一門	一門	一門	二門						六門					四應門	四應門	
														二教門		
														門		

(3)

照聽所
吳方面(完備)

製作所(神戸)	三宮航空隊	姫路同	徳島航空隊	大阪海兵団	紀伊防備隊	小松島同	串本航空隊	阪警所定	光第一	光第二	光第三	光第四	光第五
六門	三門	三門			六門	三門	六門		三基	二基	二基		
	六門	三門	六門	三門	三門	三門						四門	
工事中止 (四九九三)													

<http://www.jacar.go.jp/>

(5) 見張所(完備)
 美保ヶ関 都井岬
 (6) 對空見張所(完備)
 鎮守府屋上 石槌山(同見張所完成通三津峠山砲台ニ仮設中)

人員現狀
職員官氏名

職	主	要	事	項	官等	氏名	部
司令官					少將	板垣 盛	
參謀	首席參謀	副長	職務執行		大佐	萱場 稔次郎	
	次席參謀				少佐	佐藤 朴	
内務長	内務長	機關長	職務執行		大佐	楠田 俊一	退任
	内務長				大佐	鈴英男	入部
軍醫長	軍醫長				大佐	佐伯 尚	
會計長	會計長	第百二十四少隊長			少佐	大槻 作平	
附屬	附屬	附屬			少佐	酒井 晃	
	附屬	附屬			大尉	丹下 鶴基	
	附屬	附屬			大尉	石橋 悌三	
	附屬	附屬			大尉	河本 昇	
	附屬	附屬			大尉	龍口 和人	
	附屬	附屬			中尉	山根 正雄	
	附屬	附屬			大尉	大下 進	

3

隊附		少尉	
秋月砲台長兼第四分隊長	高島砲台長兼第三分隊長	田中輝男	田中繁次
灘山機銃砲台長	鹿川砲台長兼第四分隊長	横田芳敏	秋阪和人
黄陂山機銃砲台長	灰ヶ崎砲台長兼第二分隊長	崎山 靖	高尾敬介
砲術長附	嚴島照聴所長兼第四分隊長	霜田原房	高島安正
津波瀬機銃砲台長	大平山砲台長兼第一分隊長	畑岸 博	川口善也
鍋山機銃砲台長	西利島照聴所長兼第三分隊長	今川恒郎	木村多喜男
島帽子山砲台長兼第三分隊長	第二新宮機銃砲台長	森 裕彦	畠金利俊夫
西機銃砲台長	砲術長附	安齋文雄	フネ
礪波砲台長兼第二分隊長		朝小元雄	

<http://www.jacar.go.jp/>

隊附	掌通信長	岩武正人	
隊附	軍港衛隊附第廿八分隊士	武木伊太郎	
隊附	鹿島照所長第廿九分隊士	嶋田松雄	
隊附	足摺探信所長	角岡安吾	
隊附	普礮練習生教員第廿八分隊士	鈴木章	退隊
隊附	鳥帽子砲台附第廿五分隊士	村松武男	
隊附	軍港衛隊附第廿五分隊士	近西嘉助	
隊附	軍港衛隊附	橋本榮一	
隊附	防毒隊附第八分隊士	岡野惣一	
隊附	軍港衛隊附(秋月分遣隊附)	小柳清長一	退隊
隊附	普礮練習生教員第廿六分隊士	中山 悟	
隊附	島後探信所長	藤村 一郎	
隊附	軍港衛隊附第廿六分隊士	下村 三男	
隊附	美保子関所長	田口 泰三郎	
隊附	普礮練習生教員第廿六分隊士	高橋 大藏	
隊附	普礮練習生教員第廿六分隊士	佐藤 喜幸	
隊附	練習生教育主任附	原 周智昌	

隊附	普礮練習生教育員兼第六十八分隊士	隊長	末光勝次	
船艇部附	掌内務長(運)	長	長瀬 清	
普礮練習生教育員兼第六十七分隊士		國濱實一		
第六十九分隊士		伊勢谷重吉		
第六十五分隊士		高松一登	退隊	
探信群長附		川相賢治		
掌航海長職務執行		神田虎一		
柱島照龍所長兼第三十九分隊士		尾原寅一		
高島砲台附	兼第三十一分隊士	綿谷久石衛門		
普礮練習生教育員兼第三十九分隊士		松田 芳		
防空指揮所附		田立千代熊		
第五十五分隊士		五島 又二		
第五十五分隊士		居森 昌		
砲術長附	第五十五分隊士	小原隆雄	退隊	
砲術所定高角砲台長		西田嘉一	退隊	
吳礮所定機銃砲台長		宮村 裕男	退隊	
徳山機銃砲台長		岸 照男	退隊	
吳礮機銃砲台長				

<http://www.jacar.go.jp/>

承	第六十七	分隊長	少尉	山本	功
	大須山	隊長	第四十一	佐々木	角部
	第十少隊	隊長	藤樹	金澤	輝
	高畑山	隊長	第三十二	西谷	幸
	音戸	隊長	第三十三	伊藤	秀雄
	第五十二	分隊長	佐々木	嘉代	隆
	防	空	指揮所	中塚	英三郎
	防	空	指揮所	岡本	竜一
	防	空	指揮所	齋藤	英夫
	大平山	隊長	坂本	敏秋	退
	大平山	隊長	國東	磨	退
	大平山	隊長	古谷	楊	勇
	大平山	隊長	沼元	毅	退
	大平山	隊長	飯島	繁藏	退
	大平山	隊長	關野	勇	退
	大平山	隊長	永島	祐	退
	大平山	隊長	若林	政信	退

永令	龍術長附	少尉	駕淵清	退隊
"	"	"	田村正雄	"
"	"	"	大川原是男	"
"	"	"	岡田傳三	退隊
"	"	"	米田芳典	"
"	"	"	古野弘幸	"
"	"	"	矢崎豊雄	"
"	兵部所定防衛部長	"	吉田春生	"
"	龍術長附	"	石黒悦初	退隊
"	"	"	田中信之	"
"	"	"	佐環藤吉	"
"	"	"	山中和吉	"
"	龍術長附	"	伊藤新吉	"
"	"	少尉	井上猛	退隊
"	庚子年龍術長附	"	龍城勝三郎	"
"	龍術長附	"	松山秀夫	退隊
"	"	"	上村善亮	"

承命	砲術長附	少尉	宮永利一	退隊
秋月砲台附	第百四十八隊士		貝須英一	
龜ヶ谷砲台附			石井彦久	
砲術長附			植田 稔	退隊
軍醫長附			濱口 盛雄	
被服部長主任		退少尉	楠林 正法	
參謀附第一少隊士	戰時日記編集委員長主任	退少尉	山田 未一	
上清川島砲台附	第百四十九隊士		石田 一平	
大須山砲台附	第百五十隊士		勝部 壽藏	
板城砲台附	第百五十一隊士		岩佐 輝夫	
砲術長附			梶川 稔	
小松砲台附	第百五十二隊士		水口 重太郎	退隊
三津山砲台附	第百五十三隊士		小畑 芳男	
大向砲台附	第百五十四隊士		宮村 猛男	
砲術長附	第百五十五隊士		瀬尾 文一	
細川 栗男			細川 栗男	
中島砲台附	第百五十六隊士		田内 幸夫	

承	津和地照所長	佐藤半三郎
	白木山照所長	西 悦雄
	爆彈處理係附第10分隊士	久保田彦郎
	防空指揮所附第10分隊士	堀田伸一
	探偵隊附第10分隊士	桑田 勇
	大木無誤照所長	河 政 志
	隊附第10分隊士	吉川 政 吉
	防火隊附第10分隊士	中野 啓 郎
	爆彈處理係附第10分隊士	前川 傳 次
	隊附第10分隊士	嘉本 一 夫
	第六分隊士	安西 啓 夫
	見島探偵所長	上野 守 一
	反空隊附第10分隊士	小林 博 明
	第五分隊士	春名 孝 夫
	平部照所長	三浦 末 太郎
	通信係附	小橋 一 夫
	發令所附第10分隊士	南 千 歳

承命	日御崎探偵所長	藤坂隆一郎
承命	軍港衛兵隊附(八木谷合道連隊長)	山本 高
承命	都井見張所長	高木 義美
	神奈川縣民兵隊附	高田 大
	甲板士官 酒保系委員	松田 三郎
	川崎衛兵隊附(第四分隊士)	森上 進
	機銃群長附	久保 武雄
	石樋山見張所長	河崎 貫一
	通信長附	西山 高德
	大平龍吉附 普能練習生委員	山本 常治
	砲術長附	池嶋 忠義
	防火隊附(第七分隊士)	新谷 清吉
	第五十二分隊士	魚川 一
	砲術長附(第三分隊士)	尾原 龍吉
	吳敬言照望隊長(第十分隊士)	淡井 六郎
	石樋山見張所長	栗中 所

<http://www.jacar.go.jp/>

承	命	軍港衛兵隊附	高島長	安東鶴松	三八隊
同		音戸砲台附	同	高嶋實	五九同
同		第四高角砲台群探照燈台群長	同	近藤明男	五五同
同		通信長附	同	谷本貞行	五四同
同		軍港衛兵隊附	同	今井源三	五一同
同		第六十九分隊士	同	武藤敏太郎	同
同		軍港衛兵隊附	同	伊藤豊太郎	同
同		同 兼第二分隊士	同	尾田忠雄	同
同	一	第六十八分隊士	同	鬼頭兼正	同
同		第六十五分隊士	同	末廣文治	同
同		螺山砲台附兼第二十三分隊士	同	佐伯政雄	同
同		第六十六分隊士	同	中村博	同
同		秋月砲台附兼第四十分隊士	同	井上信夫	五九八隊
同		砲術長附	同	岡本庄雄	五八同
同		同	同	明松政男	五六退隊
同		同	同	山下佐次	五六同
同		同	同	笠井武男	同

<http://www.jacar.go.jp/>

隊附	同	老砲台附	少尉	吉田武次
同	同	虹ヶ浜砲台附	同	橋本榮
同	同	砲術士	同	森本陸郎
同	同	東山砲台長兼第八分隊長	同	倉橋弘
同	同	北山砲台長代理	同	上野正三
同	同	砲術長附	兵曹長	石丸實
同	同	八代照聽所長兼第十四分隊長	少尉	福島和生
同	同	大津島砲台長兼第五分隊長	同	行成正夫
同	同	大浦磯銃指揮官	同	石川達夫
同	同		兵曹長	松浦一一
同	同		同	和田龍一
同	同		同	井上繁夫
同	同		同	松井傳
同	同	田平機銃指揮官	少尉	松田義光
同	同	大迫田 同	同	上田武夫
兼隊附	同	富子醫士長	兵大尉	阿部利光
隊附	同	寧砲長指揮所長兼第一分隊長	兵曹長	宮下信一

<http://www.jacar.go.jp/>

同	同	承	隊	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	承
同	同	命	附	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	命
同永源山砲台附	同東山砲台附	同深浦照聽所長	同摩機長内務長附	同水谷山同	同大津島砲台附	同元砲台附	同仙島砲台附	同室積同	同八代照聽所附	同水谷山砲台附兼第四分隊長	同戸田照聽所長兼第九分隊長	同向道照聽所長兼第十分隊長	同老機銃砲台長	同大津島砲台附	同警備長附兼第十五分隊長	同原務主任
同	同	少尉	機曹長	同	同	同	同	同	少尉	兵曹長	同	機曹長	少尉	同	兵曹長	主中尉
上村善亮	古野弘幸	若林政信	弘中健助	染谷清	中島壯太郎	木村行一	梅田利夫	内田淳明	錦織正雄	清瀬祐由	伊藤保	山田四十二	青木一	桐山芳太郎	百本庄松	中川義三
											同	同				

1847

承	同	同	岳曹長	佐竹朝雄	元入隊
命			-	林義雄	
			同	末永美男	
同			同		

終

(四)

總備雇囑
計人員詮
六五六一
六三四四
名

合	臨時勤務員			定員			區別	下士官現在員數
	計	兵	下士官	計	兵	下士官		
計	四九九九	五七五	四二〇	四四二四	三七八二	六四二	水兵科	
	八〇九	四二三	三〇二	三八六	二六四	一三二	機關科	
	一七〇			一七〇	一六二	八	工作科	
	一二	一二	一二				整備科	
	一三八	二	二	一三六	一三六	一〇	衛生科	
	二〇三	八	四	一九五	一四九	四六	主計科	
合	六三三一	一〇二〇	七四〇	五三一	四四八三	八三八	計	

(ハ) 練習生ノ種別及現在員数

場	所	分隊	種別	練習生	開始年月日	修業豫定年月日
白木山	五三	第一期普通科隊	一八九	昭和十九年九月五日	同	十月二十六日
大平山	五五	第二期普通科隊	二四七	昭和十九年九月五日	同	十月二十六日
計		(陸軍航空隊)	四三六			
白木山	六八	第二期	一八〇	同	十月五日	同
大平山	六五	同	二三三			
計			四一三			
亀ヶ首	六七	第三期	九〇	同	十一月五日	同
三津峯山	六六	同	一六四			
秋月	六九	同	一三三			
計			三八六			

三、令達報告等

發 時 元 受 宛 時	令 達 報 告 等	日 時 分	同 時 分	同 時 分
一日 吳警 司令官 一般	吳警機密信電令第二六號 一、當分ノ間、四〇〇ヨリ、六〇〇迄敵機ノ奇襲ニ對シ特ニ見 張警言戒ヲ嚴ニナスベシ 二、二〇〇以後燈火警戒管制トナセ 吳警日令第九號 吳警機密信電令第二六號發令期間中一般ノ午後始業 時刻ヲ一三時四十五分トス	三日 日 三 日 八 五 吳鎮 司令官 吳警 司令官	同 時 分	同 時 分
信令第六五四號 吳警備隊司令官及吳海兵團長、左ニ依リ吳八島 錨地間ノ定期ヲ設定スベシ 一、期間十月四日ヨリ十月十六日迄（但シ偶数日ノミトス） 二、發着時刻〇七〇〇第一上陸場發八島錨地へ一三〇〇八島 發第一上陸場へ 三、定期派出区分ニ關シテハ、吳警備隊、吳海兵團間 協議決定スルモノトス	書 類	同 時 分	同 時 分	同 時 分

1851

十日 吳鎮 官部 下	九日 吳鎮 官部 下	六日 吳鎮 官部 下	六日 西部軍 司令官 吳鎮	四日 同右
信電令作第一六號 一今朝。六〇ヨリ敵機動部隊沖繩島ニ襲中	信令第六七五號 吳警備隊司令官ハ大カク島派遣中 警言戒隊ヲ撤書 收スベシ	信電令第四一號 諸情報ヲ綜合スルニ本六日ヨリ十日迄在支米空軍 ノ來襲ノ算大ナリ各部警言戒ヲ嚴ニナセ	情報 一四八小呂上空四發東進 軍監視哨發見 發西軍三速ノニ 一彼我不明一機一〇五七八屋上空高度七千進路西 敵機福岡飯塚上空 一一三〇受信 一一〇一福岡小富士敵大型一機進路北東	信令第六五八號 信令第六五四號 中期間ヲ左ノ通改ム 一期間 十月四、七、九、十日
電話	書類	電話	無線	同右

<http://www.jacar.go.jp/>

[illegible]

[illegible]

三十日 海護 總司	吳鎮	機密第二九二七八番電 發43dg司令 捕虜敵艦長以下九名(ヲCDノ捕ハシモノ當隊ニテ 護送三十日基隆發二日夕刻吳着ノ予定)	書類
訓練關係	吳鎮守府第九回防空訓練開始	電話	
同 一五五	同	訓練情報 一五三。土佐沖敵ノ疑アル飛行機アリ 二吳鎮管区訓練警戒警戒報第一種一五四。	同
同 一六五	同	訓練情報 吳鎮管区空襲警戒報吳鎮長官發令一六〇五	同
同 一六〇 吳警 司令官	吳警 一吳 敵警	訓練情報 一五五。敵編隊高知市南四〇哩高知市ニ向フ	無線
同 一六三	同	訓練情報 一六三五松山敵味方不明三機編隊高度一〇〇〇南西向フ	同
同 一六八	同	訓練情報 一六四九今治敵三機高度三〇〇〇吳ニ向フ	同

同 〇六五八	同 〇六二	同 〇五五〇	同 三三〇六〇二	同 一七三三	同 一七三七	同 一七〇	同 一七八	同 一七〇二
同	同	同	同	同	同	同	同	同
同 〇六〇敵小型三機吳上空。六二	同 〇五四三宇部敵一機吳向フ。五五〇	同 〇六〇敵三機徳山上空高度二〇〇〇吳向フ。六〇二	同 一七三〇敵吳上空。一七三二	同 一七二五岩國高度二〇〇〇吳向フ。一七二七	同 吳來襲ノ全機撃墜セリ。一七一〇	同 一七八敵三機徳山高度二〇〇〇吳向フ。一七二六	同 一七〇敵水上機三機吳上空。一七〇二	訓練情報
同	同	同	同	同	同	同	同	同

四、參考

(1) 派遣員ノ現状

局長 吳鎮部	同
副局長 吳鎮部	同
第九回防空訓練終結 吳鎮部長官	同

(2) 戰訓
特記スベキコトナシ

派遣員ノ先	人員	派遣年月日	復級年月日	記事
中部軍	各三名(下知)	昭和十六年 八月八日		情報連絡員
西部軍				
善通寺師團				
廣島師團				

1858T

257

182811

五、作戰經過ノ概要	月日 天候 機界(行)温 午前 時 日没時	一十月 快晴 快晴 五〇 五九 〇三	二日 曇 快晴 四〇 四〇	三日 曇 雨 一九 二六 〇四
任務	吳鎮守府海軍	吳鎮守府海軍	吳鎮守府海軍	吳鎮守府海軍
經過概要	配 置 教 育 六 月 整 備 作 業 六 月	配 置 教 育 六 月 整 備 作 業 六 月 一補養兵進級申渡式 二甲板作業(防空壕改造) 三工作科作業(回兵舎改造) 四冬季日課	配 置 教 育 六 月 整 備 作 業 六 月 一聯合教育(宣統術(乙)) 二工作科作業(回兵舎改造) 三甲板作業(防空壕改造) 四機關科作業(輕質油受入)	配 置 教 育 六 月 整 備 作 業 六 月 一工作科作業(回兵舎改造) 二甲板作業(防空壕改造) 三三日由吳海面第六圖射擊訓練
記事				

698T

六日	五日	四日	
曇 二、三 五、〇〇	曇 二、〇 四、五〇	半晴 一、九 四、三〇	
半晴 一、九 五、〇五	曇 二、一 三、〇〇	曇 二、〇 三、〇五	

警 備 隊

戰 時 警 備 實 施 吳 及 德

整 備 作 業	配 置 教 育	武 技 體 技	整 備 作 業
一、防空基本訓練第五法 二、工作科作業(四兵舎改造) 三、甲級作業(防空主席改修) 四、一〇一敵一機九州上空三出現	一、吳鎮密第三期普通練習生始業式四二三名 二、聯合教育信號術(五) 三、防空基本訓練第四法 四、一六〇五隊消防火教練開始一六三一終了	一、工作科作業(四兵舎改修) 二、機關科作業(重油浸入) 三、甲板作業(防空主席改修)	四、吳鎮密第三號五二一係飛機指揮官 五、防空基本訓練第三法 六、聯合教育信號暗號術(五)

空防八面方山

<http://www.jacar.go.jp/>

1861

十日	十一日	十二日	十三日
半晴 二一〇 六〇	曇 二一三 七〇	半晴 一九三 一〇〇	快晴 一八五 一四〇
曇 二〇〇 二五〇	曇 一八五 六〇	曇 一七五 五五	半晴 一七〇 四〇

三工作科作業(四兵舎改造) 三甲板作業(防空壕改修) 四徳山方面防空砲台防空刺の訓練(十日、七日) 五皇鎮守府應急見張通信訓練開始 六防空基本訓練第一三七法 七夜間訓練 八聯合教育(五)電信術 九大カマ島警戒隊撤收	整備作業 隊内大掃除 一甲板作業(水槽及防空壕作方) 二聯合教育(任務衛生術(甲、乙)) 三煙幕遮蔽訓練(五、五) 四四〇ヨリ第三警戒配備	武技 一聯合教育(信號術(乙)) 一五二一第四警戒配備	整備作業 一計科作業(貯糧品塔敷) 二甲板作業(水槽及防空壕作方) 三聯合教育(機關術(丙))
	隊内大掃除 整備作業		

十六日	十五日	十四日	
細雨 一八 五〇	半晴 一六 八〇	快晴 一七 七〇	
雨 一六 二〇	半晴 一七 五〇	快晴 一五 七〇	

神嘗祭 遙拝式	配置教 育 整備作 業 一、防空基本訓練第一三法 二、聯合教育信號術(云) 三、警察協會(二〇三〇) 四、甲板作業(防空壕作方)	配置教 育 整備作 業 一、定期被服交換 二、甲板作業(防空壕作方) 三、防空基本訓練第四法	配置教 育 整備作 業 一、機關科作業(輕質油受入) 二、甲板作業(防空壕作方) 三、聯合教育電信術(云) 四、大須山砲台試射	四、防空基本訓練第四五法 五、吳方面防空壕作方 自十三日至十八日
---------	--	---	---	---

十七日	十八日	十九日	二十日
●細雨 七〇五	曇 二一〇 五〇	曇 二〇八 七〇	晴 一〇八 〇〇
雨 二〇一 三〇	雨 二〇〇 四〇	曇 二〇五 五〇	曇 二〇〇 六〇

第八分隊長講話	武技休技	整備作業	隊内大掃除	武技休技	整備作業	配置教育	整備作業
		一聯合教育信託術(五)	二甲板作業(防空壕作リ方)	三防空基本訓練第六法	一合同為陣築儀	二舞鎮防空防護訓練 敬言備長參加	三聯合訓練打合會(於鎮守府)
					一防空基本訓練第五六法	二云自較車突檢	三甲板作業(防空壕作リ方)
							四小銃機銃戰闘射撃實地調査
							五普施練習生機銃教程射撃(大平山)
							六廣島要地軍官民連合防衛演習
							(二十日二十一日)
							七德山警備隊新設

七徳山警備隊新設
(二十日二十一日)

第四警
戒配備

1864

三 日	三 日	三 日
一 三 〇	一 三 〇	一 〇 〇
快晴	快晴	半晴
一 三 五	一 四 五	一 八 九
半晴	半晴	快晴
一 九 〇	一 八 〇	一 八 五
〇	四 〇	六 〇

武 技 体 技 防 空 基 本 訓 練 第 六 法	靖 國 神 社 例 大 祭 逢 祥 式 第 六 上 分 隊 長 講 話	配 置 教 育 整 備 作 業 一 月 例 健 康 診 斷 二 聯 合 教 育 月 面 信 術 三 學 給 渡 方 四 甲 板 作 業 （防 空 壕 作 方） 五 防 空 壕 負 材 教 育 講 習 （第 一 練 兵 場） 六 溪 盛 第 三 期 普 通 練 習 自 生 機 銃 教 程 射 擊 （向 木 山）
第 四 整 成 配 備	第 三 整 成 配 備	第 二 整 成 配 備

三 日	三 日	三 日	三 日
一雨 五九 〇〇	一曇 六〇 五	一曇 六七 〇〇	一快晴 一五 〇一
二雨 四〇 〇一	一半晴 五九 〇〇	一快晴 七〇 〇〇	一曇 四八 〇〇

整備作業 一聯合教育電信暗號術(乙) 二防空訓練事前打合會(早警會議室) 三吳警第二期普砲訓練科目生小銃教練檢定 射擊二十四日二十五日二十六日於川原石射的場 四第九回防空訓練開始 一三〇〇		訓練 一第九回防空訓練終了 〇八三〇 二〇九〇〇敬告我警報發令 〇九三三空襲警報發令 一五二〇同解除九州空襲 二二〇〇警戒警報解除 三聯合教育信號術(乙) 四警戸防空瞭台試射		武技 一健兵委員會(甲) 二小銃機械戰闘射撃手於鄉原 三吳鎮守府聯合主計科競技 四吳警第一期普砲訓練科目生修業式(四二名) 五二二八敵機一機大村上空		整備作業 一第九回防空訓練終了 〇八三〇 二〇九〇〇敬告我警報發令 〇九三三空襲警報發令 一五二〇同解除九州空襲 二二〇〇警戒警報解除 三聯合教育信號術(乙) 四警戸防空瞭台試射		整備作業 一聯合教育電信暗號術(乙) 二防空訓練事前打合會(早警會議室) 三吳警第二期普砲訓練科目生小銃教練檢定 射擊二十四日二十五日二十六日於川原石射的場 四第九回防空訓練開始 一三〇〇		整備作業 一聯合教育電信暗號術(乙) 二防空訓練事前打合會(早警會議室) 三吳警第二期普砲訓練科目生小銃教練檢定 射擊二十四日二十五日二十六日於川原石射的場 四第九回防空訓練開始 一三〇〇	
---	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---	--

一 防空基本訓練（第一） 二 聯合教育底教育（甲、乙） 三 甲板作業（防空之瞭望方）	配 置 教 育	整 備 作 業	一 聯合教育（電信術）（乙） 二 甲板作業（防空之瞭望方） 三 各方面防空砲台第五回教練射擊 二十八日 二十九日 三十日	四 防空基本訓練第六法 五 砲台校（防毒講習）為准士官一名派遣 二十八日ヨリ六日間	配 置 教 育	整 備 作 業 一 甲板作業（防空之瞭望方）	整 備 作 業 一 主計科作業（貯糧品搭載） 二 機關科作業（潤滑油受入） 三 甲板作業（防空之瞭望方） 四 通信事務補助員實施	配 置 教 育
第四警戒 配備								

498T.

三十一日
一六 三六 〇〇
一八 七六 〇〇
整 備 作 業
甲板作業（防煙壕作り方）

(終)